

「領土問題進展なら別対応を」

根室側 知事にくぎ

で編再
会交編
支庁見
意換

【根室】市総合文化会館で24日開かれた高橋はるみ知事と「根室支庁存続を求める根室市連絡協議会」との意見交換会。道側が支庁再編の「基本フレーム」修正素案や北方領土対策機能の強化を説明したのに対し、おおむね異論は出なかったが、同協議会側は「領土問題が進展したときには、別の対応を」などと、くぎを刺すことも忘れなかった。(25日朝刊4面参照)

「根室は領土返還運動の拠点として、さらには(四島)交流の窓口として重要。本庁の北方領土対策本部と直結する組織として、根室地域本部を設置する」。

高橋知事は冒頭のあいさつのほとんどを、北方領土対策の説明に

長は「みな、本心ではまだ笑っていないんです」と指摘。領土問題解決に意欲的な鳩山由紀夫首相の政権が誕生し、「領土交渉が動く」として時、なぜ「根室を振興局にする支庁再編」なんだとい

う思いだ」とくぎを刺した。長谷川市長は「今後(領土交渉の)推移を見て、振興局の体制を柔軟に見直していただきたい」と要望。知事から「当然のこと。領土が動く時は私がこ

こ(根室)に張り付いてでも陣頭指揮を執る」との決意を引き出した。また、道東あさひ農協根室支所の松下隆之統括理事が支庁再編で「根室振興局―釧路総合振興局―本庁(札幌)―の三重行政になるのでは、との懸念を示したのに対し、知事は「三重にならない形で決裁ができるようになります」と明言した。(幸坂浩)

充て、地域への配慮をにじませた。これに対し、千島函舞諸島居住者連盟根室支部の河田弘登志支部長は「お願いしてきたことが大抵いいところに収まった」と評価。知事は「(支庁再編に反発していたこれまでと違い)きょうは笑っ

ていただき、うれしい」と笑顔で応じた。ただ、長谷川俊輔市長は「お願

る

え、柔軟な職員配置ができるようにする。2014年度末までに、本庁で24%(800人)、14支庁合計で21%(2千人)の人員削減を行う

るのでは、との懸念を示したのに対し、知事は「三重にならない形で決裁ができるようになります」と明言した。(幸坂浩)

「基本フレーム」修正素案の要旨

・総合振興局に集約する広域事務の内容は対象地域の首長と協議し、3年程度で移行する

・水産、農務など現行の産業担当課を維持する

・振興局(総合振興局)長に一定の人事権を与える

・2014年度末までに、本庁で24%(800人)、14支庁合計で21%(2千人)の人員削減を行う

「根室は領土返還運動の拠点として、さらには(四島)交流の窓口として重要。本庁の北方領土対策本部と直結する組織として、根室地域本部を設置する」。

高橋知事は冒頭のあいさつのほとんどを、北方領土対策の説明に

高橋知事は冒頭のあいさつのほとんどを、北方領土対策の説明に